

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-86629

(P2004-86629A)

(43) 公開日 平成16年3月18日(2004.3.18)

(51) Int. Cl.⁷

G06F 17/60

F I

G06F 17/60 1 3 2

G06F 17/60 1 2 8

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号

特願2002-247721 (P2002-247721)

(22) 出願日

平成14年8月27日 (2002.8.27)

(71) 出願人

000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(74) 代理人

100108187

弁理士 横山 淳一

(72) 発明者

田村 易男

神奈川県横浜市神奈川区新子安一丁目2番4号 株式会社富士通アドバンスソリューションズ内

(72) 発明者

中澤 浩一

神奈川県横浜市神奈川区新子安一丁目2番4号 株式会社富士通アドバンスソリューションズ内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 合否情報通知方法、合否情報通知装置及び合否情報通知プログラム

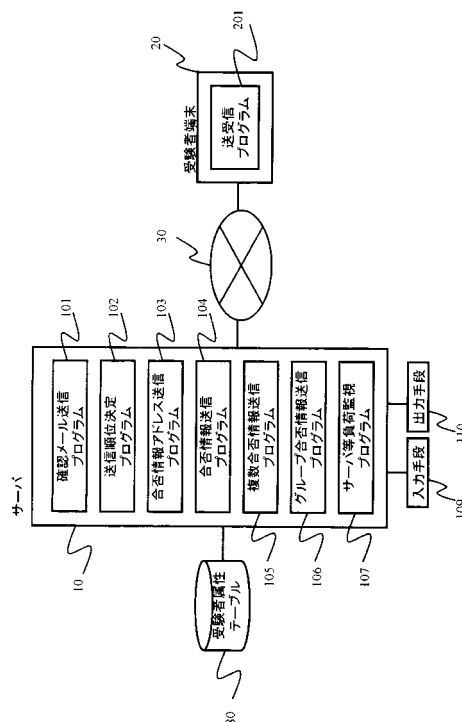
(57) 【要約】

【課題】本発明は、ネットワークを介した試験の合否結果の照会において、一時に照会が集中しサーバやネットワークに過度の負荷がかかり、メールの到着が遅れる等のネットワークの障害、及びサーバのシステムダウンを引き起こしてしまうような状況を回避するための、合否情報通知方法を提供することを目的とする。

【解決手段】上記の課題は、受験者が使用する受験者端末に、合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信するステップと、前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信するステップと、前記返答メールを受信した受信時間を前記受験者ごとに記録するステップと、前記受信時間に基づいて、前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定するステップと、前記サーバの負荷を示すサーバ負荷値が所定の値未満のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信するステップとにより解決される。

【選択図】

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記受験者端末に前記合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信するステップと、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信するステップと、

前記返答メールを受信した受信時間を前記受験者ごとに記録するステップと、前記受信時間に基づいて、前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定するステップと、

前記サーバの負荷を示すサーバ負荷値及び前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを所定の数の前記受験者端末に送信するステップと

を有することを特徴とする合否情報通知方法。

10

【請求項 2】

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスに基づいた前記受験者端末からの前記合否情報の送信要求を受信するステップと、

前記送信要求に対して、前記受験者の受験番号の前後の複数の合格者の受験番号を送信するステップと

を備えたことを特徴とする合否情報通知方法。

20

【請求項 3】

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記受験者の合否情報を開示することを希望するか否かを該受験者に問い合わせるための質問を前記受験者端末に送信するステップと、

前記受験者端末から送信された前記質問に対する回答を受信するステップと、前記回答において前記合否情報を開示することを希望した前記受験者を、該受験者の属性情報に基づいてグループ化するステップと、

前記グループ化した受験者の受験者端末に対して、該グループ内の受験者の合否情報を送信するステップと

を備えたことを特徴とする合否情報通知方法。

30

【請求項 4】

ネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に対して試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する装置において、

前記受験者端末に前記合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信する手段と、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信する手段と、

前記返答メールの受信時間を記録し、該受信時間に基づいて前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定する手段と

、前記装置の負荷を示す値が所定の値以下のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する手段と

を有することを特徴とする合否情報通知装置。

40

【請求項 5】

コンピュータを動作させるためのプログラムであって、コンピュータに

受験者が使用する受験者端末に、該受験者が試験に合格したか否かを示す合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信する手段と、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信する手段と、

50

前記返答メールの受信時間を記録し、該受信時間に基づいて前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定する手段と、

前記装置の負荷を示す値が所定の値以下のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する手段とを機能させるための合否情報通知プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介した試験等の合否情報を通知する方法及び装置に関する。

10

【0002】

【従来の技術】

従来、インターネットで大学の入学試験等の合否結果を照会をする方法がいくつかあり、例えば、合格発表のサイトで合格者の受験番号が一覧で表示されるものや、受験番号を入力して検索、照会するもの等がある。また、利用者の問い合わせに対してメールで合否結果を送信する場合もある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

前記の従来の方法によれば、合格発表時にネットワークを介した照会が集中し、サーバやネットワークに過度の負荷がかかることがあり、メールの到着がおくれたり、システムダウンを引き起こしかねない状態になったりすることがあった。また、前記のような合格発表のサイトは、公開サイトであるため、所属、出身校等の詳細な個人情報をそこに表示させることはできず、合否結果の表示をパスワードで管理するとしてもその煩わしさが残った。

20

さらに、照会をした受験者のみの合否の結果を直接的に通知された場合には、合格者の受験番号を一覧で表示した場合と比較して、受験者が受ける心理的影響が大きく、また、合格率の目安の見当もつかないという問題もある。

そこで、本発明は上記の問題を解決するネットワークを介した試験合否情報を通知する方法、装置及びプログラムを提供することを目的とする。

【0004】

30

【課題を解決するための手段】

本発明の、サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する合否情報通知方法は、前記受験者端末に、前記合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信するステップと、前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信するステップと、前記返答メールを受信した受信時間を前記受験者ごとに記録するステップと、前記受信時間に基づいて、前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定するステップと、前記サーバの負荷を示すサーバ負荷値、及び前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを所定の数の前記受験者端末に送信するステップとを含む。

40

【0005】

以上のステップを備えることにより、合格発表時のネットワークを介した合否情報の照会の集中を防ぎ、メールの到着が遅れる等のネットワークの障害、及びサーバのシステムダウンを引き起こしてしまうような状況を回避することが可能となる。

【0006】

また、本発明の合否情報通知方法は、前記合否情報アドレスに基づいた前記受験者端末からの前記合否情報の送信要求を受信するステップと、前記送信要求に対して、前記受験者の受験番号の前後の複数の合格者の受験番号を送信するステップとを含む。

【0007】

従って、受験者が受験番号を目視で順を追って確認することで、試験結果の通知による心

50

理的影響を緩和することが可能となるのみならず、ある一定人数中の合格者の人数が判ることから、合格率の目安の見当をつけることも可能となる。

【0008】

さらに、本発明の合否情報通知方法は、前記受験者の合否情報を開示することを希望するか否かを該受験者に問い合わせるための質問を前記受験者端末に送信するステップと、前記受験者端末から送信された前記質問に対する回答を受信するステップと、前記回答において前記合否情報を開示することを希望した前記受験者を、該受験者の属性情報に基づいてグループ化するステップと、前記グループ化した受験者の受験者端末に対して、該グループ内の受験者の合否情報を送信するステップとを含む。

【0009】

従って、受験者は、該受験者以外の例えば出身校が同じである等の同じ属性をもつ受験者の合否情報の通知を受けることが可能となり、同じ属性の受験者の合格率も知ることができる。

【0010】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態について図面により説明する。図1に示すように、本実施形態は、受験者が使用する受験者端末20からの要求に対して、該受験者の合否情報を通知すべく、サーバ10と受験者端末20とがネットワーク30を介して接続される形態をとる。なお、図1においては例として受験者端末20は1台のみしか表されていないが、実際はこの台数に限るものではない。

【0011】

サーバ10は、確認メール送信プログラム101、送信順位決定プログラム102、合否情報アドレス送信プログラム103、合否情報送信プログラム104、複数合否情報送信プログラム105、グループ合否情報送信プログラム106、サーバ等負荷監視プログラム107を備え、さらに受験者属性テーブル80、入力手段109、出力手段110を備えている。

【0012】

確認メール送信プログラム101は、受験者が合否情報の通知を希望するか否かを問い合わせるためのメールを送信するための処理を記述したプログラムである。

【0013】

送信順位決定プログラム102は、前記確認メール送信プログラム101により送信したメールに対して、受験者端末20によって返信された返答メールを受信して、その受信時間から合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを送信する送信順位を決定するための処理を記述したプログラムである。

【0014】

合否情報アドレス送信プログラム103は、サーバ等の負荷を示す値が所定の値未満のときに、前記送信順位決定プログラム102により決定した送信順位に従って、合否情報アドレスを送信するための処理を記述したプログラムである。

【0015】

合否情報送信プログラム104は、合否情報アドレスに基づいて受験者端末20によって送信された合否情報の送信要求に対して、合格したか否かの合否情報を受験者端末20に送信するための処理を記述したプログラムである。

【0016】

複数合否情報送信プログラム105は、合否情報アドレスに基づいて受験者端末20によって送信された合否情報の送信要求に対して、該受験者端末20を使用する受験者の受験番号を含む前後の複数の受験番号を送信するための処理を記述したプログラムである。

【0017】

グループ合否情報送信プログラム106は、合否情報の開示の可否の問い合わせに対して開示を希望した受験者をグループ化して、そのグループ内の受験者の合否情報を同じグループ内の受験者に送信するための処理を記述したプログラムである。

10

20

30

40

50

【0018】

サーバ等負荷監視プログラム107は、サーバ10やネットワーク30の負荷の状態を監視するための処理を記述したプログラムである。図1に示す実施例では、サーバ10にサーバ等負荷監視プログラム107を備えることとしているが、外部の他の装置に同様のサーバ10やネットワーク30の負荷を監視するプログラムを備えて、該装置から負荷の状態を監視し、その負荷の状態を示す値をサーバ10に提供することとしても良い。

【0019】

受験者端末20は送受信プログラム201を備え、各種の情報やデータ及びメールをサーバ10から受信したり、サーバ10に送信したりするものである。

【0020】

受験者属性テーブル80は、各受験者に関する情報と、各プログラムによる処理を行うための各種の属性情報とを対応付けて記憶したデータテーブルである。

10

【0021】

図8に受験者属性テーブル80の内容を示す。受験者802には、受験者の氏名を記憶し、受験番号801には各受験者を一意に識別するための受験番号を記憶している。出身校803、メールアドレス804には、それぞれ各受験者の出身校、メールアドレスを記憶している。受信時間805、合否情報要否806には、送信順位決定プログラム102によって、それぞれ返答メールを受信した時間、返答メールにふくまれる合否情報の要否に関する情報が記録される。送信順位807には、送信順位決定プログラム102が受信時間805に基づいて決定した、合否情報アドレスを送信するための送信順位が記憶される。合否808には、各受験者の試験の合否の結果を記憶している。開示可否809には、グループ合否情報送信プログラム106によって、各受験者より受信した合否情報の可否に関する質問に対する回答が、記録される。

20

【0022】

次に図2乃至図7に示すフローチャート及び図8に示す受験者属性テーブル80を用いて、本発明の動作例を説明する。

【0023】

図2は、確認メール送信プログラム101が、全ての受験者に合否情報が必要か否かを問い合わせる処理を説明するためのフローチャートである。この処理により、合否情報を必要としない受験者の受験者端末20に情報を送信しないですみ、送信するメールの総数を減らすことができるため、サーバ及びネットワークの負荷を軽減することができる。

30

【0024】

まず、ステップS21で、図8に示す受験者属性テーブル80のメールアドレス804を参照して、受験者に合否情報の通知を希望するか否かを問い合わせるための確認メールを送信する。このときのメールの表示例を図9(a)に示す。

【0025】

次にステップS22で、受験者属性テーブル80に従って全ての受験者に確認メールを送信したことの判定を行う。全ての受験者への送信が終了していなければ、受験者属性テーブル80に従って、次の受験者に確認メールを送信し、終了していれば、処理が終了する。

40

【0026】

図3は、送信順位決定プログラム102が、受験者より確認メールに対して返信された返答メールから、合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを送信する順位を決定する処理を説明するためのフローチャートである。

【0027】

まず、ステップS31で受験者からの返答メールを受信する。

【0028】

次にステップS32で、前記返答メールの発信者のメールアドレスに基づいて、該返答メールの受信時間と合否情報の要否に関する情報とを、受験者属性テーブル80の受信時間805と合否情報要否806とに記録する。

50

【 0 0 2 9 】

そしてステップ S 3 3 で、合否情報の通知を希望した対象者について、受信時間 8 0 5 に記録した受信時間に基づいて、合否情報アドレスを送信する送信順位を決定し、送信順位 8 0 7 に記憶する。図の例では、受信時間の早い順に送信順位を決定している。また、図示はしていないが、確認メールを送信した時間を受験者ごとに記録しておき、確認メールを送信した時間から返答メールを受信した時間までの所要時間の短い順に、送信順位を決定しても良い。この決定の方法によれば、大量の受験者に確認メールを送信した場合の、送信時間の先後の差による不公平を是正することが可能となる。

【 0 0 3 0 】

図 4 は、合否情報アドレス送信プログラム 1 0 3 が、合否情報アドレスを受験者に送信する処理を説明するためのフローチャートである。 10

【 0 0 3 1 】

まず、ステップ S 4 1 では、サーバ等負荷監視プログラム 1 0 7 が測定したサーバ 1 0 の負荷の状態を表すサーバ負荷値が規定値未満か否かを判定する。負荷値が規定値以上であれば、サーバ 1 0 は送信の処理を行わずにステップ S 4 2 で一定時間待機する。負荷値が規定値未満であれば、ステップ S 4 3 に進む。

【 0 0 3 2 】

ここで判定に用いるサーバ負荷値は、サーバ 1 0 の負荷値のみとは限らず、ネットワーク 3 0 の負荷を示す値を用いても良いし、それらの両方の値を用いることとしても良く、以上を総称して、サーバ負荷値とする。 20

【 0 0 3 3 】

ステップ S 4 3 では、受験者属性テーブル 8 0 の送信順位 8 0 7 の送信順位を参照して、合否情報の通知を希望した受験者に対して、合否情報アドレスを送信する。ここで送信する合否情報アドレスの表示の例を図 9 (b) に示す。

【 0 0 3 4 】

ステップ S 4 4 では、合否情報アドレスを送信する対象となっている全ての受験者への送信が完了したか否かの判定を行う。全ての送信が終了していなければステップ S 4 1 にすすみ、終了していれば処理が終了する。

【 0 0 3 5 】

ここで図 4 に示した実施の形態では、ステップ S 4 3 において、サーバ負荷値が所定の値未満のときに、予め設定した人数の受験者に合否情報アドレスを送信するごとに次のステップに進むこととした。1 度に送信する人数を変えることによって、合否情報アドレスを送信した受験者の人数に対する、サーバ 1 0 の負荷値を判定する頻度を調整することができる。また、図示はしていないが、サーバ負荷値に基づいて、合否情報アドレスを 1 度に送信する人数を変えることとする実施の形態もある。例えば、サーバ負荷値が 0 以上 4 0 未満では 1 度に 1 0 人に送信し、4 0 以上 8 0 未満では 5 人に送信し、8 0 以上では 0 人に送信、即ち送信せずに一定時間待機する、という実施の形態である。 30

【 0 0 3 6 】

図 5 は、合否情報送信プログラム 1 0 4 が、受験者端末 2 0 からの合否情報の送信要求に対して、合否情報を送信する処理を説明するためのフローチャートである。 40

【 0 0 3 7 】

受験者端末 2 0 は、図 9 (b) などによって通知された合否情報アドレスに基づいて、ネットワーク 3 0 を介してサーバ 1 0 に接続し、合否情報の送信要求を送信する。ステップ S 5 1 ではサーバ 1 0 が、この送信要求を受信する。受験者は送信要求の送信の際に、該受験者を識別する受験番号を入力し、この送信要求には該受験者の受験番号に関する情報が含まれている。

【 0 0 3 8 】

ステップ S 5 2 では、サーバ 1 0 は、受験者端末 2 0 から送信された受験番号に基づいて、受験者属性テーブル 8 0 の受験番号 8 0 1 を参照し、対応する合否 8 0 8 の欄から合否の結果を参照し、当該受験者の合否情報を受験者端末 2 0 に送信する。この合否情報の表 50

示画面の例を図10(a)に示す。

【0039】

図10(a)に示す合否情報は、合否の結果を直接的に表示するものであるが、図10(d)に示すように複数の受験番号を表示させるようにして、直接的に合否の結果を表示しないような実施形態とすることも可能である。この実施形態を実現させる複数合否情報送信プログラム105の処理を説明するためのフローチャートが図6である。

【0040】

ステップS61はステップS51と同様であるが、ステップS62では、ステップS61で受信した受験者の受験番号に基づいて、受験者属性テーブル80の受験番号801と合否808とを参照して、前記受験番号の前後の複数の合格者の受験番号をまとめて送信する。

10

【0041】

よって、図1におけるサーバ10は、合否情報送信プログラム104と複数合否情報送信プログラム105との両方を備えることとしても良いし、どちらか一方のみを備えることとしても良い。前記の両方のプログラムを備えることとした場合には、受験者端末20から送信された送信要求に含まれる情報により、どちらか一方を選択するという実施形態とすることも可能である。例えば、送信要求に、受験者端末20がパーソナルコンピュータのような端末であるのか、あるいは携帯電話のような端末であるのか、という情報を含ませて、それに従って合否情報の表示の形態を決定することが可能である。あるいは、受験者が送信要求を送信するときに希望する合否の結果の表示の形態を選択することも可能である。

20

【0042】

図7は、グループ合否情報送信プログラム106が、合否情報を開示することを希望するか否かを記録した属性情報に基づいて受験生をグループ化して、そのグループ内の受験者にグループ内の受験者の合否情報を送信する処理を説明するためのフローチャートである。

【0043】

ステップS71では、受験者に合否情報の開示の可否を問い合わせるための質問を受験者端末20に送信する。このステップS71の質問を送信する処理は、ステップS52の合否情報を送信する処理と同時に行うこととしても良いし、合否情報を送信した後に行うこととしても良い。この質問の受験者端末20の画面の表示例を図10(b)に示す。

30

【0044】

ステップS72では、サーバ10は、前記質問に対する受験者の回答を受験者端末20より受信する。この回答は受験者属性テーブル80の開示可否809に記録する。

【0045】

ステップS73では合否情報の開示を希望した受験者を受験者属性テーブル80の属性情報に基づいてグループ化する。例えば、受験者の「新城 夏美」が合否結果の開示を希望し、同じ出身校の受験者の合否情報の通知を希望したとする。すると、サーバ10は、まず、「新城 夏美」の出身校803の欄を参照し、「新城 夏美」の出身校が「南武高校」であることを認識する。次に、開示可否809の欄に「1」が記録されており、かつ、出身校803の欄に「南武高校」と記憶されている受験者を検索する。すると、「中原 一郎」と「新城 夏美」が抽出されるので、その2人の合否情報をグループ化する。

40

【0046】

ステップS74では、グループ化した受験者の合否情報を受験者端末20に送信する。この送信した合否情報の、受験者端末20における表示例が図10(c)である。

【0047】

以上の実施の形態は本発明を大学の入学試験に適用した場合であるが、例えば何らかの資格試験の場合であれば、前記ステップS73では、出身校ではなく所属企業に基づいてグループ化することも考えられる。さらに、図8に示した属性の項目以外でも、受験者属性テーブル80で管理する項目として追加すれば、出身地、性別、年齢等のあらゆる属性情

50

報が、グループ化するための属性情報として用いることが可能である。

【0048】

なお、図示はしていないが、サーバ10及び受験者端末20は、CPU(Central Processing Unit)によって装置全体が制御されているコンピュータである。CPUには、バスを介してRAM(Random Access Memory)、ハードディスク装置(HDD)、グラフィック処理部、入力インタフェース、および通信インタフェース等が接続されている。

【0049】

RAMには、CPUに実行させるOS(Operating System)のプログラムやその他のプログラムの少なくとも一部が一時的に格納される。また、RAMには、CPUによる処理に必要な各種データが格納される。HDDには、OSやその他のプログラムおよびデータが格納される。

10

【0050】

グラフィック処理部には、モニタ装置が接続されている。グラフィック処理部は、CPUからの命令に従って入力画面などをモニタ装置に表示させる。入力インタフェースには、キーボードやマウス等が接続されている。入力インタフェースは、キーボードやマウス等から送られてくる信号を、バスを介してCPUに送信する。

【0051】

通信インタフェースは、ネットワーク30に接続されている。通信インタフェースは、ネットワーク30を介してサーバ10と受験者端末20との間で、相互にデータの送受信を行なう。

20

【0052】

本発明の実施の形態に係る確認メール送信プログラム101、送信順位決定プログラム102、合否情報アドレス送信プログラム103、合否情報送信プログラム104、複数合否情報送信プログラム105、グループ合否情報送信プログラム106、サーバ等負荷監視プログラム107を上述のコンピュータで実行させることによって、コンピュータを合否情報通知装置として機能させることができる。

【0053】

また、上記のコンピュータが有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておくことができる。このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現できる。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリなどがある。市場に流通させる場合には、CD-ROM(Compact Disk Read Only Memory)やフレキシブルディスクなどの可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送したりすることもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置などにプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

30

【0054】

(付記1)

40

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記受験者端末に前記合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信するステップと、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信するステップと、

前記返答メールを受信した受信時間を前記受験者ごとに記録するステップと、前記受信時間に基づいて、前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定するステップと、

前記サーバの負荷を示すサーバ負荷値及び前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレ

50

スを所定の数の前記受験者端末に送信するステップと
を有することを特徴とする合否情報通知方法。

【0055】

(付記2)

前記合否情報アドレスに基づいた前記受験者端末からの前記合否情報の送信要求を受信するステップと、

前記送信要求に対して、前記合否情報を送信するステップと
を更に備えたことを特徴とする付記1記載の合否情報通知方法。

【0056】

(付記3)

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスに基づいた前記受験者端末からの前記合否情報の送信要求を受信するステップと、

前記送信要求に対して、前記受験者の受験番号の前後の複数の合格者の受験番号を送信するステップと

を備えたことを特徴とする合否情報通知方法。

【0057】

(付記4)

サーバがネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する方法において、

前記受験者の合否情報を開示することを希望するか否かを該受験者に問い合わせるための質問を前記受験者端末に送信するステップと、

前記受験者端末から送信された前記質問に対する回答を受信するステップと、

前記回答において前記合否情報を開示することを希望した前記受験者を、該受験者の属性情報に基づいてグループ化するステップと、

前記グループ化した受験者の受験者端末に対して、該グループ内の受験者の合否情報を送信するステップと

を備えたことを特徴とする合否情報通知方法。

【0058】

(付記5)

ネットワークを介して受験者が使用する受験者端末に対して試験に合格したか否かを示す合否情報を通知する装置において、

前記受験者端末に前記合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信する手段と、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信する手段と、

前記返答メールの受信時間を記録し、該受信時間に基づいて前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定する手段と

、
前記装置の負荷を示す値が所定の値以下のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する手段と

を有することを特徴とする合否情報通知装置。

【0059】

(付記6)

コンピュータを動作させるためのプログラムであって、コンピュータに

受験者が使用する受験者端末に、該受験者が試験に合格したか否かを示す合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信する手段と、

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信する手段と、

前記返答メールの受信時間を記録し、該受信時間に基づいて前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定する手段と

10

20

30

40

50

、
前記装置の負荷を示す値が所定の値以下のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する手段と
を機能させるための合否情報通知プログラム。

【0060】

(付記7)

コンピュータを動作させるためのプログラムを格納した記憶媒体であって、コンピュータを

受験者が使用する受験者端末に、該受験者が試験に合格したか否かを示す合否情報が必要か否かを問い合わせるための確認メールを送信する手段と、

10

前記確認メールに対して、前記受験者端末より返信された返答メールを受信する手段と、
前記返答メールの受信時間を記録し、該受信時間に基づいて前記合否情報のネットワーク上の所在を示す合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する送信順位を決定する手段と

、
前記装置の負荷を示す値が所定の値以下のときに、前記送信順位に基づいて、前記合否情報アドレスを前記受験者端末に送信する手段と

として機能させるためのプログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。

【0061】

【発明の効果】

以上説明したように、サーバの負荷の状態により合否情報の所在を示す情報の通知を制御することにより、合格発表時のネットワークを介した合否情報の照会の集中を防ぎ、メールの到着が遅れる等のネットワークの障害、及びサーバのシステムダウンを引き起こしてしまうような状況を回避することが可能となる。

20

【0062】

また、合否情報の通知においては、受験者が受験番号を目視で順を追って確認することになり、試験結果の通知による心理的影響を緩和することが可能となるのみならず、合格率の目安の見当をつけることも可能となる。

【0063】

さらに、受験者は、該受験者以外の例えば出身校が同じである等の同じ属性をもつ受験者の合否情報の通知を受けることができ、同じ属性の受験者の合格率をしることも可能となる。

30

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実現するための構成図である。

【図2】サーバの確認メール送信処理を説明するフローである。

【図3】サーバの送信順位決定処理を説明するフローである。

【図4】サーバの合否情報アドレス送信処理を説明するフローである。

【図5】サーバの合否情報送信処理を説明するフローである。

【図6】サーバの複数合否情報送信処理を説明するフローである。

【図7】サーバのグループ合否情報送信処理を説明するフローである。

【図8】受験者属性テーブルの例である。

40

【図9】表示画面の例1である。

【図10】表示画面の例2である。

【符号の説明】

10 サーバ

20 受験者端末

30 ネットワーク

101 確認メール送信プログラム

102 送信順位決定プログラム

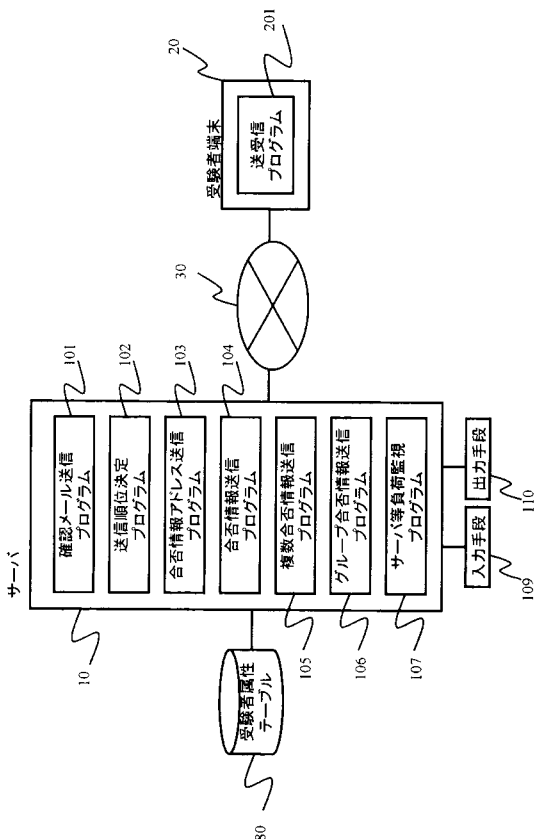
103 合否情報アドレス送信プログラム

104 合否情報送信プログラム

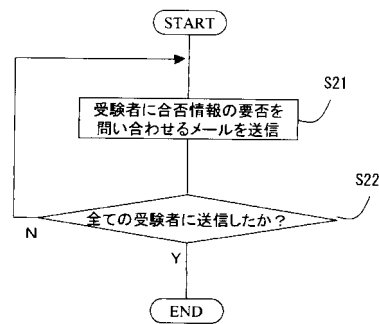
50

- 105 複数合否情報送信プログラム
- 106 グループ合否情報送信プログラム
- 107 サーバ等負荷監視プログラム
- 109 入力手段
- 110 出力手段
- 80 受験者属性テーブル
- 801 受験者属性テーブルの受験番号の欄
- 802 受験者属性テーブルの受験者の欄
- 803 受験者属性テーブルの出身校の欄
- 804 受験者属性テーブルのメールアドレスの欄
- 805 受験者属性テーブルの受信時間の欄
- 806 受験者属性テーブルの合否情報要否の欄
- 807 受験者属性テーブルの送信順位の欄
- 808 受験者属性テーブルの合否の欄
- 809 受験者属性テーブルの開示可否の欄

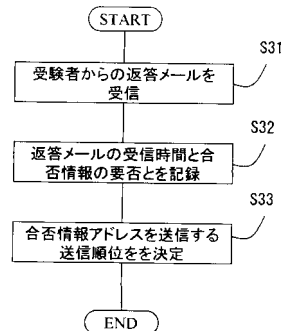
【 図 1 】



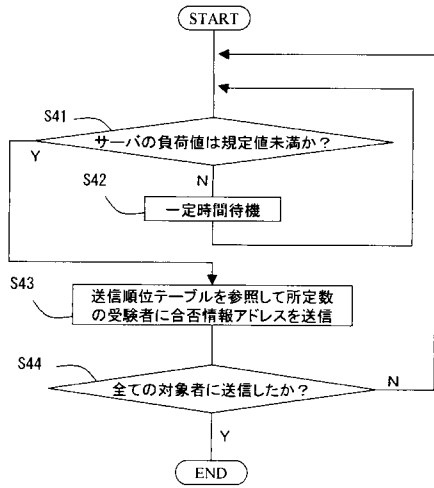
【 図 2 】



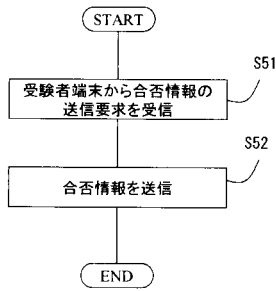
【 図 3 】



【 図 4 】



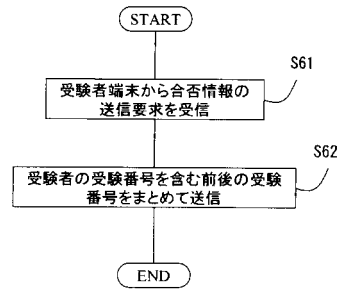
【 図 5 】



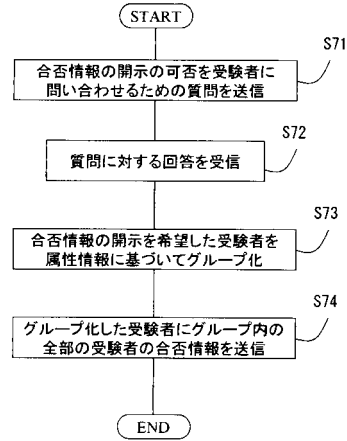
【 図 8 】

受験番号	受験者	出身校	メールアドレス	受信時間	合否情報 要求	送信順位	合否	開示可否 1:Yes, 2:No
101	中原 一郎	簡武高校	ichiro@a.com	10:05	○	1	合格	1
102	小杉 二郎	簡武高校	jiro@b.com	10:25	○	3	不合格	2
103	川崎 三郎	東海高校	harumi@c.com	10:12	○	2	合格	1
104	横口 三郎	簡武高校	saburo@d.com	10:13	x	-	不合格	-
105	新塚 四郎	簡武高校	natsumi@e.com	10:30	○	4	合格	1
106	品川 五郎	東海高校	itsuyumi@f.com	10:20	x	-	合格	-

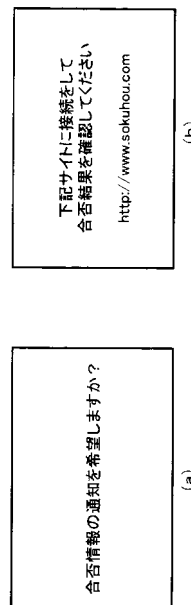
【 図 6 】



【 図 7 】



【 図 9 】



【 図 1 0 】

合格です
あなたの合格結果を
公開しても良いですか?
Yes: 1 No: 2

(b)

受験番号105近隣の
合格者
受験番号
101
103
105
106

(d)

合格です

(a)

南正高校合格結果			
受験番号	氏名		合格
101	中川 一朗		合格
105	新城 夏美		合格

(c)

フロントページの続き

(72)発明者 田邊 浩靖

神奈川県横浜市神奈川区新子安一丁目2番4号 株式会社富士通アドバンスソリューションズ内

(72)発明者 井崎 一郎

神奈川県横浜市神奈川区新子安一丁目2番4号 株式会社富士通アドバンスソリューションズ内